

## 玉川学園・南大谷地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：9月11日(日)10時～12時

参加者数：会場：77名      グループ数：会場：15グループ(A～O)

分類方法：ラウンド1で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の( )はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
子ども(27件)	(全般:5件) ・子どもたちがワクワク。(A) ・通学路を通る子どもを見ると嬉しい気持ち。(E) ・子どもたちのにぎやかな声。(F) ・活気のあるまちは子どもたちが楽しく遊ぶ！高齢者も元気に。(J) ・安心して子どもが通えるように。車の運転が乱暴。(K)	子ども(33件)	(全般:2件) ・子どもはスマホばかり みんな下を向いている。(A) ・子どもたちのマスク・・・外していると思うのかな？・・・大人がみんなマスクをしているのはどんな風に見えるのかな？(口元は感情がみえる)。(J)	子ども(29件)	(全般:3件) ・子どもがいるとみんな元気になる。(A) ・子どもたちの故郷をつくる。(D) ・100人のうち2人が「子どもがうるさい」というと、その意見に従うことになりがちだが、もっとおおらかにしたい。(I)
	(居場所・遊び場:10件) ・公園で子どもが遊んでいる。(C) ・子どもが安心して遊ぶ。(C) ・友だちと集まって遊べる。いつもと違うことができる。(D) ・朝、散歩している。子どもたちの遊んだあと、見るのがワクワクする。児童公園をつないでいく散歩道ができるとワクワクする。ゆるいつながり。(G) ・子どもたちが安心して遊べる場がたくさんあるといい。(I) ・不登校の子どもたちと親をつなぐ場。(I) ・子どもと遊ぶ。(K) ・放課後安心して遊べる場所(まちとも)。公園で近所の方がたくさんいればいい。(L) ・塾とか行く子どもが増え公園で遊ばない。公園でゲームしたり。(L) ・不登校の子、集まり入れる場所。(N)		(居場所・遊び場:8件) ・子どもがいろいろな経験ができる場所をあちらこちらにつくる⇒大人と知り合いになる(C) ・おむすび食堂つくる。(C) ・空き家利用 子どもと一緒に・安心できるように近いところから始める。(D) ・公園で遊んでいる子どもがいない。昔のように遊んでいない。⇒ふれあう、支えあう、一緒に遊ぶ。(G) ・子どもが遊んでいるのを見たらワクワクした。コロナなのになぜ遊ぶのか、と言われた。(G) ・3丁目広場でボール遊びをしている。家族ぐるみ。(G) ・コロナによって園を地域に開放しているがなかなか参加につながらない。(J) ・勉強や学びを得ることができる場所の提供。(O)		(居場所・遊び場:5件) ・大谷で活動が少ない。おむすび食堂やりたい。(A) ・子どもセンターのような場所を増やす。(D) ・小さいお子さんが遊ぶ場所は？(日常的に・・・)。(J) ・コミュニティセンター、子ども集まるように。(M) ・遊べる場所少ない、不便⇒価値のあるまちにする、選ばれるまち。(M)
	(見守り:4件) ・元気にあいさつ。⇔こどもの見守り。(A) ・子ども見守り、あいさつがあるとうれしい(新一年生、緑の帽子かぶる)。(L) ・あいさつの基本(見守りの方から)子どものことをよく知っている、見ている。顔つき等心配して、連絡下さる、助かる。子どもを通じて地域つながる(働いていると住んでいる地区、わからない)。(L) ・核家族⇒子どもや見守りが増える(M)		(見守り:10件) ・子どもへの声かけ。見守り。(A) ・子ども見守りの帽子だけでなく素敵なブローチつけて活動したい。つけてくれる人増やしたい。つけたら一体感生まれる。(L) ・子ども祭り(子どもから募った)マスコットキャラのバッチを作る。(L) ・歩くとき、まちのみんながブローチつけているといい。(L) ・バッチ(帽子)付けてたら助けて、助けてあげるよと安心して言える。(L) ・登下校時に見守り。(N) ・帽子が不人気。(N) ・なにもしなくても声かけ。(N) ・不審者と見分けがつかない。(N) ・見守りを増やす(顔見知りを増やす)。(N)		(見守り:7件) ・子どもの登校時に高齢者があいさつ。(F) ・笑顔で子どもたちに接する。(F) ・登下校の横断歩道の見守りを地域の人が行う。(F) ・子どもに声をかけたが、あやまれるので帽子をかぶるようにする。子どもが安心する効果があるので、皆でかぶる。(I) ・缶バッジ・シールを作る、子どもが作る。(N) ・缶バッジもらえる、共有。(N) ・“縁ぼうし”や“缶バッチ”をつけてまちに出ることで、子どもが安心して声をかけやすい大人、増やしていきたい。(O)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
子ども(27件・ 続き)	(交流・つながり:4件) ・子どもたちのイベントを通して地域と交流。(D) ・子どもたちとのあいさつ。(F) ・子どもたちの通学中の声に元気をもらう。親との交流ができる とよい。会えないので。(I) ・子どもとのふれあいのあるまち。(O)	子ども(33件・ 続き)	(交流・つながり:5件) ・夏休みの宿題の協力。(D) ・神社の竹の提供。友達が友達を呼ぶ。学区をこえた交流(D) ・子どもを集める(顔見知りを増やす)。(N) ・子どもふれあえる場所をつくっていく。(O) ・学童などでの子どものつながりを促していく。(O)	子ども(29件・ 続き)	(交流・つながり:1件) ・子どもたちと草むしり、身近なお手伝い。(H)
	(子どもの意見表明・参加:2件) ・中学生の考え(アイデア)を活かせるまち ☆やる気がある子 どもが多い。(A) ・子どもが活躍できる場があるまち。(H)		(子どもの意見表明・参加:6件) ・玉ちゃんサービスに子どもを巻き込む。(D) ・「子ども」がすすめるまちを応援する。いろいろな組織を取り込 んでみる。ひと、まち、子ども。(G) ・南大谷小学校が中心になると、盛り上がると思う。(G) ・子どもが活躍できる場があるまち⇒街に出て学習する。(H) ・商店街で職場体験(現在も実施中)。(H) ・お祭りで中高生が自分たちでお店を出す。子どもがチャレンジ。 (H)		(子どもの意見表明・参加:9件) ・イベントでこどもの役割分担。(B) ・子どもの活躍を大事にしなければならない。SNS等を利用して 情報発信。(B) ・子どもが主体になり応援するまちづくり。つなげて広げる。(G) ・こどものまち・ミニまちだ(くまきりさんの活動)⇒市役所⇒モニ モニ⇒青少年健全育成⇒こどものまち(G) ・子どもを巻き込んで、地域の財源で清掃とかする。(G) ・地域通貨を使う。駄菓子屋さん。子どものワークショップで使 ったものを売るとか。(G) ・「まちだ版こども通貨」をつくる。子どもが活躍できること。(G) ・子ども運営委員(冒険遊び場のプレイリーダー、支える大人が必 要)。(G) ・子どもたちが仕事をする。(H)
	(イベント:2件) ・3年ごしに子どものために夏祭りを出した。(A) ・子ども向けイベントはたくさん開催されている。子ども向け料理教 室など。(K)		(イベント:1件) ・子どもを中心にスタンプラリーや地図づくりのような催しをして、 地域を知ってもらおう。(E)		(イベント:1件) ・子どもの作品をお祭りで売る(D)
(学校・部活動:0件)	(学校・部活動:1件) ・部活動に地域に参加してもらおう。(A)	(学校・部活動:3件) ・中学生のサークル活動ある。(C) ・年間学習計画に地域を巻き込む。(D) ・コロナが明けたら学校イベントに地域の方を紹介。(F)			
お祭り・イベン ト (14件)	・地元のお店やお祭りなどのイベントの開催が重要。(B) ・みんな集まって伝統的なお祭りがある。(D) ・イベントのイメージ。(E) ・夏祭り、飲食含め開催でき、良かった。(E) ・息子も夏祭りに”ワクワク”していた。イベント大切。ある花屋さん の日替わり看板にワクワク。(E) ・高齢者が多いので、健常者も子どもも参加できる「玉学オリンピ ック」したらワクワクする。年齢別。握力測定とか。玉学ならで は。(G) ・季節ごとのイベントがあるまち。(H) ・地域のお祭り 非日常の体験(おみこし)。(K) ・季節ごとの地域の行事 夏祭りに中高生がたくさんいて活気が あった。(K) ・秋の子ども祭り(第5小学校)1,000人規模のお祭り。(K) ・母校が色々なイベントをしているのが嬉しい。(K) ・夏祭りだけでなく季節ごとにみんな集まれるイベント(ゴミ拾い、 防災)があると(年代関係なく)顔見知りになれる。あいさつあると 安心。嬉しい。地域交流できる。(L) ・知り合いがいる、イベントがある(敷居低)。(M) ・イベントが少ない。(N)	お祭り・イベン ト (11件)	・ハイキング・宴会(A) ・イベント遊びで子どもたちに何らかの役割をつくる。(C) ・年齢別運動会開催。車いすとか。(D) ・日本の伝統イベント(正月、こいのぼり)少なくなってきたが、や る！(E) ・玉川音頭の復活！自分たちで地域を。(E) ・イベントを通して地域の人とつながりを作るイベント把握、周知。 (F) ・季節ごとのイベントがあるまち⇒盆踊りの復活。(H) ・イベントに参加したシールがあるとつながりやすい。(I) ・イベントで出会った人とつながっていく。(I) ・俳句を使って人を呼び込む。(I) ・盛り上がることを商店会でも企画する。(I)	お祭り・イベン ト (12件)	・イベント(子ども食堂系)にボランティア参加。(C) ・思い出に残ることをやる。(D) ・昔、玉学エリアは新しい住宅地だったので自分たちでふるさとづ くりをする！という催しがあった。(E) ・お祭り、大事。(H) ・盆踊り←大人が踊りを教える。子どもが楽しめる踊り。(H) ・大きなイベントだけでなく、小さなイベントを増やす。小学校で開 催。毎年毎年やること。(H) ・玉川学園五小でお祭り⇒南大谷でもイベント(11月に予定)が あるといいな。(J) ・月見坂の使い方「何秒で登ってみた」チャレンジ。(L) ・月見坂の使い方(ダッシュ競争)商店協会で賞金年代別。有名 選手招いてチャレンジを子どもたちに見てもらおう。(L) ・イベント前の助走、ハードル下げて好きな仲間と協力しながら。 (L) ・高齢者多い⇒おかし、スタンプラリー(M) ・イベント。(N)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
あいさつ・声かけ (13件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに普通にあいさつする。(C)</li> <li>・あいさつできる 交流。(D)</li> <li>・高齢者同士の声かけがある。(F)</li> <li>・あいさつで声掛けがあるまち。顔見知りが多いまち。(H)</li> <li>・会った時に笑顔であいさつ、声かけ。(I)</li> <li>・声かけが通じる。会話がある。あいさつしやすい地域。自然。(I)</li> <li>・あいさつができる。小学生とはおはようと言える。大人同士もあいさつし合いたい。(I)</li> <li>・外国の方にも声をかけている。日本語で話し合える。(I)</li> <li>・自分から積極的に声をかける。赤ちゃんづれの人にも。相談できる関係になるといい。(I)</li> <li>・自分から発することが大事。(I)</li> <li>・あいさつがかかわせる地域 誰もが地域で暮らせる。(K)</li> <li>・あいさつができる。(N)</li> <li>・あいさつできるまち。(O)</li> </ul>	あいさつ・声かけ (14件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつから始める。自然なかたちで、長くつながれるように。花のあるまち。(D)</li> <li>・あいさつをしよう。道案内とか坂道の案内とか。(G)</li> <li>・あいさつで声掛けがあるまち⇒毎日散歩する。出会う機会を増やす。オープンスペースにベンチを置く。(H)</li> <li>・あいさつできるといいが、帰り道に「こんばんは」と言いづらい。近所ではあいさつしている。あいさつの最初の一步をどう踏み出すか。(I)</li> <li>・帽子など目印があって、安心してもらえると言声かけやすい。(I)</li> <li>・当番制で道に立ってあいさつする。有志から広げていきたい。(I)</li> <li>・あいさつは自分から声をだす(あいさつから始まるのが大事)⇒和が広がる。(J)</li> <li>・犬を通してあいさつがしやすい。(J)</li> <li>・あいさつをしている人同志のまちが抑止力となる。(J)</li> <li>・緑の浄化活動しながら月の出る所、中秋の名月教えてくれてありがとうと言われる(一本の雑草も写真撮ってニュースにして発信)。あいさつは朝晩だけでなく声かけ、優しくなれる、安心。あえてエプロン姿で声かける。(L)</li> <li>・あいさつを積極的に。(M)</li> <li>・「あいさつしてはいけない」地域がある。(N)</li> <li>・あいさつできる雰囲気づくり。(N)</li> <li>・知らない人を助ける、あいさつ。(N)</li> </ul>	あいさつ・声かけ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が始めるあいさつで輪を広げる。(C)</li> <li>・あいさつから全てが始まる。自分から発信。自己紹介できる関係にしたい。(I)</li> <li>・南大谷はお店がないが、すれ違う時のあいさつで知り合いになれる。地区(班)では仲がいい。助け合えるが、他の班とも交流したい。(I)</li> <li>・あいさつキャンペーン(期間を決める)。(N)</li> <li>・あいさつは大切!!(O)</li> </ul>
まちのイメージ (12件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいなまち。(C)</li> <li>・一人ひとりがきれいにする気持ち。(C)</li> <li>・円満な家庭が一つ一つ集まって全体としてワクワク。(C)</li> <li>・まちに元気がある。(D)</li> <li>・横のつながりがある。(D)</li> <li>・子どもと大人も楽しめる。(D)</li> <li>・逆にヒヤヒヤするエリアも。(草ぼうぼうで庭が)高齢者大丈夫か?(E)</li> <li>・地形によって生活しにくくなっていく。(E)</li> <li>・訪れたいまち!玉川学園は魅力的 歩くまち。地形の活用(外から来た人も楽しいと住んでいる人も楽しい)。(J)</li> <li>・落ち着いたまち並み。(J)</li> <li>・商店街の高齢化⇒未来が見えるようなまち、イベント、玉川学園(M)</li> <li>・地域の安心。(N)</li> </ul>	まちのイメージ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者(70、80代)が坂を歩いていてすごい。(A)</li> <li>・まちをよくしたい当然世代の思い、引き続けたい。思いをカタチに。(L)</li> </ul>	まちのイメージ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川学園の高齢者は「健康」というデータがあるといい。(A)</li> <li>・大人も活躍できるまち。(H)</li> </ul>

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
交流・つながり づくり (11件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きんじよの本棚が広がり、読書活動が活発に。駅前広場をにぎやかにした。(A)</li> <li>・ 隣近所とのつながり。(B)</li> <li>・ 顔見知り。(C)</li> <li>・ 地域の散歩をしながら地域とつながる。(F)</li> <li>・ 自宅のビオトープ(水があり金魚)で会話できる。(I)</li> <li>・ 何も無いのいい。騒音なくていい。広い公園あるといい。人との交流できる。(L)</li> <li>・ 地域の人とのつながり。(N)</li> <li>・ 子どもきっかけでつながり。(N)</li> <li>・ 犬の散歩中にまちの人とのつながり。(O)</li> <li>・ 人のつながりのあるまち。(O)</li> <li>・ 今回の会のような地域の方とのつながり。(O)</li> </ul>	交流・つながり づくり (15件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣所とのつながり。(B)</li> <li>・ 人々の会話を通じてお互い理解すること⇒つながる(B)</li> <li>・ 食を介した交流。(C)</li> <li>・ 多人数の食を用意する経験あり。(C)</li> <li>・ きんじよの本棚開催。 駅前のスペースを利用。(D)</li> <li>・ 顔見知りになる。(D)</li> <li>・ 公園のお掃除を通して交流。草取り。(D)</li> <li>・ まずは前提として安心安全なまちに、まちの住民が顔見知り！(E)</li> <li>・ ワクワクする関わり合いの仕方をする。「何かがあるからおいで」(G)</li> <li>・ 隣まちと交流する。ワクワクをもらう。もらいたい。(G)</li> <li>・ 隣どうし、一度交流すればつながる。一回、顔をみれば。(G)</li> <li>・ 顔見知りを増やす。(J)</li> <li>・ きんじよの本棚、その家の人の空間、交流が生まれる。(L)</li> <li>・ 子どもを通して知り合う。(N)</li> <li>・ 公園の掃除などを行う中で人とのつながりを作っていく。(O)</li> </ul>	交流・つながり づくり (12件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣所の参加⇒つながりをひろがる。(B)</li> <li>・ 食の交流の場をまちなかでつくるのに必要な制度・規制を調べる。(C)</li> <li>・ ゴミ拾いする⇒草取りイベント 終わった後みんなで会食。(C)</li> <li>・ ご近所さん会、お店カフェ、井戸端会議。(D)</li> <li>・ コロナで色々地域の関係が中断している。(E)</li> <li>・ 地域の知らない人を少なくしていく。(F)</li> <li>・ 地域の人同士が支援しあえる関係づくり動く、行動をすること。(F)</li> <li>・ 玉学と南大谷との交流。学区の行き来がある。(G)</li> <li>・ 大人どうし子どももコミュニケーションが大事。(H)</li> <li>・ 地区懇談会でいろいろな人と話せるのがよい。有意義である。(I)</li> <li>・ 日頃の中で関わる機会。(N)</li> <li>・ 今回のようなコミュニティに積極的に参加⇒つながりができることによって、地域の基盤作り。(O)</li> </ul>
歴史・文化 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂と階段が魅力。残せるまち。(A)</li> <li>・ 世界一のチャンピオンがこの地区から出るとワクワクする。スポーツとか、なんでも応援したい。(G)</li> <li>・ 商店街に名前をつけよう。(G)</li> <li>・ 「玉学百景」名坂百選、夕日スポット。ビュースポット選びをする。(G)</li> <li>・ 坂に名前を付けよう。坂から下をみると、なつかしさ。熱海のような。(G)</li> <li>・ さがしてプロットしたらワクワクする「玉学愛」(G)</li> <li>・ 宮崎駿のアニメ。タヌキ山。竹やぶ。(G)</li> <li>・ かしの木山をポケモンの聖地にする。聖地巡礼するとワクワク。(G)</li> <li>・ 芹が谷にポケモンスポット。ポケモンの田尻さん、出身者(南大谷小)。かしの木山にポケモン。(G)</li> </ul>	歴史・文化 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂と階段に名前があるとよい…ウォーキングの魅力になる。(A)</li> <li>・ 玉川学園のよい写真をシェアする機会をつくる。(A)</li> <li>・ ポケモンの作者の出身地:世界に誇る。(A)</li> <li>・ 上記を発信すべき。文化人多い。(A)</li> <li>・ 散歩道の再生。活動でつながることが重要。(A)</li> <li>・ 文化人多い。発信することはよい(のらくろ)。(A)</li> <li>・ まち歩き案内人。すりばちマップ、作家が住んでいるところ、桜、安全に歩ける道にして外の人もくる。外からはまちの人の声かけされると嬉しい。(L)</li> <li>・ 月見坂 SNS 投稿している若者も気にかけている。(L)</li> <li>・ いいネーミングがあると広まる。(L)</li> <li>・ 文教地区にしたいと一生懸命やっていた。(L)</li> </ul>	歴史・文化 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 階段にも名前をつける⇒子どもに参加してもらう(A)</li> <li>・ 文教地区の伝統を伝える。(D)</li> <li>・ 玉川学園(街並み1軒1軒がおもしろい)と恩田川(川・公園・旧家)を地域外の人に知らせる。(J)</li> <li>・ 道を活かして活気あるまち:商店会+町内会が仲がいい。(J)</li> </ul>

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
拠点・居場所 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが集まることができる場所。(B)</li> <li>・公園などの施設の利用が大切！！ 近所:チームワーク/お祭り:お互い名前を覚えること。(B)</li> <li>・美味しいものが食べられる⇒そういう所に集まる(C)</li> <li>・図書館のような居場所づくり。(D)</li> <li>・自分がいてもいい場所がある。出かけていくのが楽しい。(I)</li> <li>・憩いの椅子の設置。空き家利用。(J)</li> <li>・集う場所がほしい・・・川沿いにあるといいな！(J)</li> </ul>	拠点・居場所 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心相談室をよりよく利用することが大切。(B)</li> <li>・みんなが集まることができる場所集めることができる場所を探すこと(例えば通路等の利用)。(B)</li> <li>・みんなが集まりやすい(カフェ・おまつり)場所町内会・支援センター)や拠点・・・距離。(B)</li> <li>・ココがスゴイ！との場所をつくる。(C)</li> <li>・老人会を通したボランティア活動〇〇さんに会えるから行く、集まれるような場作り。(F)</li> <li>・ご近所同士の会話ができる場づくり。(F)</li> <li>・安心して遊べる大きな公園などがあるといい。地元で集まれる場所がほしい。(I)</li> <li>・不登校の子どもや障がいがある方が学ぶことができるサロンを形成する⇒場の提供。(O)</li> </ul>	拠点・居場所 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先が階段の行き止まりのところを居場所にする。(A)</li> <li>・みんなが集まる場をつくる。その場の環境を整えるのは大切。(B)</li> <li>・空き家利用、ガレージ提供。(D)</li> <li>・学校の教室活用、地域が参加して。(D)</li> <li>・保育所、集会所セットになったような場所づくり。使いやすい。(D)</li> <li>・学校を場として提供。(D)</li> <li>・車を使わなくなった高齢者住宅の駐車スペースを使った活用。(E)</li> <li>・スペース活用しようと思っても、規制があって、できなくなることが多い。(E)</li> <li>・住み開き。(G)</li> <li>・広いお庭開放。(G)</li> <li>・これからも発展させようー空き家プロジェクト、えんがわカフェ、きんじよの本棚。(G)</li> <li>・まちづくりの会などと「ご近所さん会」をやっている。井戸端会議ができる場で話す。あちこちでやっている。(I)</li> <li>・図書室は引きこもっていた方を含め、居やすい場なので開放を。(I)</li> <li>・空きスペースでバザーなど立ちいり安い場所を！！・・・どうしたらいいのか話し合ってみては！⇒スペースは？以前は神社、今はさくら会館/その土地は使えない⇒みんなで声を上げてきたらいいな。(J)</li> <li>・都の土地を活用してひろばがあるので上記も可能性がある。(J)</li> <li>・大人(気軽に行ける、近所、おうちカフェ)の集まれる場所。(N)</li> <li>・雑談できる場所(手ぶらで行ける)。(N)</li> <li>・バリアフリー。(N)</li> <li>・行けば誰かがいる場所。(N)</li> <li>・幼稚園、保育園。(N)</li> <li>・場所を管理できる人。(N)</li> <li>・玉川学園ボランティアセンター。(N)</li> <li>・図書カフェ。(N)</li> <li>・しゃべっていい図書館。(N)</li> </ul>
多世代交流 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと大人(高齢者)があいさつ(交流)できるまち。(A)</li> <li>・多世代交流:様々な居場所があるまち 商店街の活性化、ワクワクとしみじみ。(A)</li> <li>・子どもや高齢者の方を集まってお互い話し合い。(B)</li> <li>・小学生～年配者の交流会。(C)</li> <li>・大人と子どもの間に垣根がない。(F)</li> <li>・子どもたちの散歩時に地域の人(おじいちゃん、おばあちゃん)と出会う。(J)</li> </ul>	多世代交流 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間での話し合うことは新しい知識を学ぶ！！(B)</li> <li>・おじいちゃんたちが元気をもらえてワクワクする。(G)</li> <li>・若い人との交流を増やす。(M)</li> <li>・父兄+地域の方(高齢者と一緒に)子どもの見守り(幼稚園、小学校の前)、交流、イベント⇒町内会、PTA、ボランティア(M)</li> <li>・高齢者と町内会に入っていない若者のつながり。(N)</li> </ul>	多世代交流 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が高齢者と学ぶ機会を！(A)</li> <li>・認知症について学ぶとか(学校でやっているかも)オレンジリング。(A)</li> <li>・VRで認知症を学ぶことができると多世代交流を日常的にできる。(A)</li> <li>・世代の価値観を大切に。(D)</li> <li>・オープンガーデン。老若男女、ハードルを下げてもらえると・・・。(G)</li> <li>・わざわざ児童館に行かなくても近くのじっちゃん、ばっちゃんと会いたい。(G)</li> <li>・じっちゃん、ばっちゃんマップをつくるといい。(G)</li> <li>・校庭で朝、ラジオ体操できるようにすると、子どもと高齢者が交流できる。学校を開放する。(I)</li> <li>・高齢者と子ども、若い世代との設定づくりだ。(O)</li> </ul>

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
自然 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物が多い⇒そういう公園がある(C)</li> <li>・ 帰ってくると緑がある。気持ちがいい。手入れしてある。緑がさわさわしていてワクワクする。桜。玉学に帰ってきた、空気が違う、と思う。(G)</li> <li>・ 「玉学名百木」(名木百選)にするとワクワク。インスタにあげるといい。手入れする。さんぽ「名木をまわろう」(G)</li> <li>・ 恩田川。(G)</li> <li>・ 散歩道に花があるまち。ベンチがあるまち。(H)</li> <li>・ 花がきれい。月も美しい。(I)</li> </ul>	自然 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉川学園は緑も桜も本当に魅力的。(A)</li> <li>・ 公園などに虫や生き物の居場所づくりをする。(D)</li> <li>・ 散歩道に花があるまち⇒木陰とベンチ(H)</li> </ul>	自然 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流の橋渡しをしたい。ピオトープ(水辺)を通した会話がまちの中でもできる。まちのあちこちに水があり生物がいるところをつくる。(I)</li> <li>・ メダカを数十年飼っている人がいる。リバーサイドガーデン。「玉川学園のクロメダカ」は有名。(I)</li> <li>・ 桜があつての玉川学園。桜並木があつたらいいですね！(J)</li> <li>・ 30年後の「さくらのまち」を描く。(J)</li> </ul>
まちの機能 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンパクトに多様な資源がある。(A)</li> <li>・ ベースに安全、安心 移動しやすい。(A)</li> <li>・ 季節の花屋がある花屋ワクワク。玉学は夜の店少ないが、そういう店嬉しい。また、自ら行動すること。(E)</li> <li>・ 買い物難民、たまちゃんバス減便⇒配達、レンタル(M)</li> </ul>	まちの機能 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会ベンチあいまいな空間にあたるのがまたいい。使いこんで愛する。(L)</li> <li>●車について(K)</li> <li>・ 道が細い。車と歩行者が別々にして欲しい。(K)</li> <li>・ 坂道ではスピードが出やすい。(K)</li> <li>・ 一方通行にする⇒安心。車を運転する側も気が楽。お互い様の気持ちをもって。(K)</li> </ul>	まちの機能 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さな移動をできる仕組みを検討している⇒運転手は有償ボランティアか←時代は有償ボランティアか！(A)</li> <li>・ 高齢者に甘えさせすぎず、歩いてもらうことも大事(荷物だけ配達するとか)。(A)</li> <li>・ 歩道が狭いところがある。(J)</li> <li>・ 小田急線の下の道路がネック・・・次のものができるまでの活用。(J)</li> <li>●車について(K)</li> <li>・ 一方通行にできるのは嬉しい。(K)</li> <li>・ スクールゾーンにするのはハードルが高い。(K)</li> <li>・ 安心して通学ができるように、通学の時間帯だけでも一方通行にできるといい。(K)</li> </ul>
活動の担い手 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな人力集結。(C)</li> <li>・ 若い世代が活躍している。(D)</li> <li>・ 大学との連携。(M)</li> </ul>	活動の担い手 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉川学園大、昭和薬科大の学生とのつながり⇒授業の一貫(M)</li> </ul>	活動の担い手 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアは他のことにつながる！！【お互い様】(A)</li> <li>・ 地域人材の活用。元先生もいるはず⇒フリースクールに参加してほしい。(A)</li> <li>・ リーダーはいらない。みんなが自由に話し合うこと⇒自由な雰囲気(B)</li> <li>・ 商店会。(N)</li> </ul>
障がい者 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいを持って暮らしている人がコミュニティに入れる。(I)</li> <li>・ 障がいのある人にも声をかけている。先方からもあいさつしてくれるようになる。(I)</li> <li>・ 障がい者も地域で受け入れられる。(K)</li> </ul>	障がい者 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいのある子どもだと、怖がられることもあるが、声をかけてもらえるといい。(I)</li> </ul>	障がい者 (0件)	

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
情報発信・共有 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の情報若者は SNS 中心。高齢者は紙媒体中心。広報の仕方が課題。(K)</li> <li>個人情報。(N)</li> </ul>	情報発信・共有 (19件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内での情報交換。(B)</li> <li>ネットで地域のイベント情報の発信。(F)</li> <li>情報は年代によって紙・インターネットなど使い分ける。(I)</li> <li>チケットックで若い世代向けに発信。(I)</li> <li>「スマホの先生」が大事。若い人のツールを高齢者も使える。(I)</li> <li>町内会の会報にQRコードを載せたら、高齢者に不評だった。(I)</li> <li>住む続けたいなるまちづくりをすすめる。商店会でも SNS の理解をすすめる。(I)</li> <li>地域全体の登録できる SNS。(I)</li> <li>地域の情報交換の場は。(J)</li> <li>アピールできる場(掲示)が欲しい。(J)</li> <li>●情報の集め方や出し方について(K)</li> <li>城南信用金庫では高齢者が聞きたいテーマについてイベントを行った。(K)</li> <li>玉川学園は商店街にチラシが貼ってある。(K)</li> <li>町内会だより、回覧板はタイムリーではない。(K)</li> <li>掲示板を誰もが利用できるように。(K)</li> <li>多くの人が集まる場所⇒みんなが見られるように(K)</li> <li>地域の商店街が減っている⇒スーパーやさくら会館にチラシを貼る(K)</li> <li>チラシは紙、SNSと年代で分けて発信している。(K)</li> <li>グループラインやFBを活用。(K)</li> </ul>	情報発信・共有 (25件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV放送などのルートを利用する。(B)</li> <li>情報共有できる地域に SNS 活用するなどして、イベント周知を。(E)</li> <li>子ども食堂で活用しているその周知が課題。SNS、回覧板、町の掲示板。(E)</li> <li>町内会でも情報共有の方法は悩む。(E)</li> <li>保育園を知ってもら。開放していること等を知らせるチラシを貼りたい。アピールしたい。(I)</li> <li>周知の方法。紙、回覧板やチラシ等や PTA、各地区の37団体でメーリングリスト作ってもら。各地区団体の広報同士のつながり、連携情報を得たら近所の家の人へのピンポンして知らせる(空き家プロジェクト、お花の種配布プロジェクト)。(L)</li> <li>紙、メーリス、直接周知、いっぱい情報くると「ない」と同じ。広げるときには人と人のつながりがゆっくりだけど着実、確実、地道。一人では大変けどもう一人いれば強力。(L)</li> <li>SNS の使い方。(N)</li> <li>QRコードが読めない。(N)</li> <li>QRコードが読めない⇒解決策を考えていく(N)</li> <li>●情報の出し方(K)</li> <li>自治会では紙媒体。デジタルで配信するには課題がある。(K)</li> <li>班長が月ごとに変わる。配布物の仕分けに時間がとられる。(K)</li> <li>若い世代は SNS にして欲しいと要望がある。(K)</li> <li>世代間の差がある。(K)</li> <li>世代間の差を埋めるために、お互いに学び合う。(K)</li> <li>イベントに参加したいが、知る機会が少ない。(K)</li> <li>回覧板は家単位 家族皆が見ない。(K)</li> <li>町内会の掲示板の活用。色々な地域に広報ができる。(K)</li> <li>町内会の掲示板を利用にはきまりがあるのか？(K)</li> <li>電子掲示板、紙の掲示板の併用。玉川学園地域は駅や商店街、南大谷地域はスーパー。(K)</li> <li>選挙ポスター掲示板があるところ。(K)</li> <li>小学校の掲示板は市民向けではない。(K)</li> <li>公共交通機関。バス停の近くなど。(K)</li> <li>QRコードを読み取るがスマホの場面では見づらい。(K)</li> </ul>
支え合い・助け合い・見守り (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もを”ひとり”にしないまち・・・高齢者が多い。(A)</li> <li>高齢者のお宅訪問。コロナでできなかつたが、会えると安心、ワクワクする。「ホッとしました」と言ってもらえる。(G)</li> </ul>	支え合い・助け合い・見守り (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が地域参加できるような声かけ地域の見守り活動、イベント参加企画。(F)</li> <li>たまちゃんサービス、みいちゃんサービスをひろげよう。(G)</li> <li>長く住んでいるといい所、当たり前前に感じていた。おせっかいおばさんやろう。(L)</li> </ul>	支え合い・助け合い・見守り (0件)	
活動のしくみ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動が継続できること。(F)</li> <li>交流したいがマッチングが必要。やりたいこと、困っていることをコーディネートする。情報を伝え合う。(I)</li> </ul>	活動のしくみ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアを出し、一步を踏みだすこと。つながったから始められる。ワクワクを提供する。声をかける。(G)</li> <li>しくみづくり⇒MAP づくり⇒行動する⇒しくみづくり(G)</li> </ul>	活動のしくみ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動自体を継続させる。(D)</li> <li>”やりたい”があっても、方法がわからない、出来ないで、上手くいかない。何かシステムがいる。(E)</li> <li>鶴間公園の事例説明。玉学でもできたら、市もどうやれば出来るか考える。(E)</li> <li>地域の活動を継続していくこと。(F)</li> <li>玉学と南大谷と一緒に事業をすること。相談とかサロンとか。(G)</li> </ul>

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (128件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(132件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(154件)
防災活動 (0件)		防災活動 (0件)		防災活動 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南大谷平日災害時⇒防災訓練の企画(町内会、消防連携)、全員が自分事⇒高齢者の見守り、顔見知り増、子どもとのつながり⇒助け合い(M)</li> <li>・危機意識が低い。(M)</li> <li>・地震対策、備蓄(家庭・町内会)。(M)</li> <li>・玉川学園⇒避難(M)</li> <li>・防災の観点から、自治会に入っていない賃貸暮らしの方とのつながりをつくっていく。(O)</li> </ul>
その他の活動 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園掃除やっている。(第2日曜日 AM)町トレやっている人がしにかけている。(L)</li> <li>・防犯対策。(N)</li> </ul>	その他の活動 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃活動。(A)</li> <li>・まちトレ・ボランティア・イベント参加・子ども会活動。(D)</li> </ul>	その他の活動 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードバンクを南大谷にも。(A)</li> <li>・公園の清掃活動。(N)</li> <li>・まちトレに積極的に参加。(O)</li> </ul>
その他 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幅。(N)</li> <li>・高齢者同士は少ない。(N)</li> <li>・Zoomの使い方、SNS、スマホ、公式LINE、PayPay。(N)</li> <li>・銀行の待ち時間。(N)</li> <li>・お孫さんのこと。(O)</li> </ul>	その他 (0件)		その他 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や様々な組織も力をいれるのは大切。(B)</li> <li>・行政は地域内の住民の声を聴くのは不可欠。(B)</li> <li>・マスクとか、自治会が責任もつ(クレーム処理とか)。(D)</li> <li>・敷居高い。(M)</li> <li>・ワッペン、名前。(N)</li> </ul>

## ＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること」、「③ あったらいいと思う地域の活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

玉川学園・南大谷地区では、1名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

### ① ワクワクするまち

- ・自然に恵まれた成瀬山緑地での散策や花木の鑑賞。
- ・役に立つ情報が簡単に手に入ること。
- ・近所同士で情報交換をして楽しむこと。

### ② あったらいい活動

- ・＜ご意見はございませんでした。＞

### ③ あったらいいと思う地域の活動

- ・高齢者を対象に（触れ合い）の場づくりを企画し、多くの人に参加してもらうこと。（（注）井戸端会議、講演会、コスモス祭り）
- ・成瀬山の枯れてきた桜の復活（桜苗木の植栽）を行うこと。
- ・成瀬山緑地の更なる有効活用を企画すること。
- ・イベントの企画、指導ができる人材の派遣。（（注）今以上の範囲拡大）
- ・自治会の運営に関わり、いやいやではなく、心から活動してくれる人の発掘。  
（（1）人材育成の講習会の開催、（2）従来の補助金制度にかえて、人材育成の促進をはかる）

## 玉川学園・南大谷地区 町田第5小学校意見まとめ

町田第5小学校の6年生から、玉川学園の地区別懇談会（2022年9月11日）にあたって提案をいただいた。提案を分類し、主な提案を記載する。

分類	提案例
ごみを減らす(ポイ捨てを減らす) 【25人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ箱の設置</li> <li>・ 意識啓発ポスターの掲示、リーフレットの設置</li> <li>・ ボランティアでゴミを拾う</li> <li>・ 玉川学園をきれいにする会を開催する</li> <li>・ ポイ捨てしている人に注意する</li> <li>・ 学校内、家庭内のゴミを減らす工夫をする</li> <li>・ プラスチックを使わない商品を増やす</li> <li>・ エコバッグの配布</li> </ul>
公園、遊び場 【9人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気軽に行ける公園を増やす</li> <li>・ 安全な公園を増やす</li> <li>・ 公園の遊具を増やす</li> <li>・ 遊具を設置したらポスターで広報する</li> <li>・ 公園で幼児が遊びやすいようにする(ボール遊びの禁止等)</li> <li>・ 小学生と大人までが遊べる公園と小さい子どもが遊ぶ公園を分ける</li> <li>・ 注意書きを書いたポスターを公園に貼る</li> <li>・ 廃校や廃墟を壊して公園を作る</li> <li>・ 公園を増やすポスターの掲示</li> <li>・ 公共施設の改良・増加による中高生の遊び場づくり</li> </ul>
活性化、観光客増加 【7人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CM、ポスター等でPRする</li> <li>・ 人気チェーン店の誘致</li> <li>・ インスタ映えする飲食店を作る</li> <li>・ 祭りやイベントを広報する(SNS、インターネット)</li> <li>・ 観光パンフレットを作成し、コミュニティセンターに設置する</li> <li>・ 自転車による活気(駐輪場の設置、大通りのカフェの増設、自転車専用道路、電動自転車のレンタル)</li> <li>・ 町田市の国際化(意識、ボランティア、多言語サイン、外国人観光客の増加)</li> </ul>
交通安全の実現 【6人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かどがある場所に信号をつける</li> <li>・ 道路を拡張する</li> <li>・ 歩道と車道を分ける</li> <li>・ ミラーつける</li> <li>・ 安全運転の啓発ポスターの掲示</li> <li>・ 駅前道路の整備</li> </ul>
飲食店等の店を増やす 【5人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アレルギー専用の店をつくる</li> <li>・ 飲食店を増やすためにポスターを作る</li> <li>・ 移動販売の店を作る</li> <li>・ カフェや店を増やす</li> <li>・ コンビニを作る</li> </ul>
緑、自然環境 【5人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草花を植える(庭、ベランダ等)</li> <li>・ 公園に自然を増やす</li> <li>・ 意識啓発ポスターの掲示</li> <li>・ 地域のみんなで木や花を植えたりする交流を行う</li> </ul>

分類	提案例
<b>食品ロスを減らす、 地産地消の推進</b> 【5人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食べきれない食べ物を集める場所を作ってもらい、福祉施設などに送ってもらう</li> <li>・ 飲食店で量を選べるようにする</li> <li>・ 食べ残さない、作り過ぎない、冷蔵庫の管理</li> <li>・ 地産地消メニューを作り飲食店で出す</li> <li>・ 町田市の耕作放棄面積で野菜を作る、地域の人に野菜作りを手伝ってもらう</li> </ul>
<b>地域交流の活性化</b> 【4人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達を誘ってイベントに行く</li> <li>・ ポスターを作成し、公共施設の情報を周知する</li> <li>・ コミュニティセンターなど、誰でも気軽に立ち寄れるようにする、ベンチなど座る場所</li> <li>・ イベント、行事を増やす(小学校で行きたいと思う行事についてアンケートを取る)</li> <li>・ 学校に玉川学園の行事紹介コーナーを作る</li> <li>・ コミュニティセンター主催イベントについて市民から公募する、実行はボランティア</li> <li>・ 学校と地域の関わりを活性化する(ふれあいサタデーの平日開催、セカンドクラスの時間にゴミ拾い)</li> </ul>
<b>防犯、不審者対策</b> 【4人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見回る目を増やす</li> <li>・ 警備を増やす</li> <li>・ 街灯を増やす</li> </ul>
<b>移動手段</b> 【3人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タクシーで自宅に帰れるサービスを増やす</li> <li>・ バス停を増やす</li> <li>・ コミュニティバスのバス停を快適にする(ベンチ、庇)</li> <li>・ 小田急バス運行システムの宣伝</li> </ul>
<b>バリアフリーの実現</b> 【3人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意識啓発ポスターの掲示</li> <li>・ 障がい者支援のボランティアへの参加</li> <li>・ 施設のバリアフリー化、エレベーターの設置</li> <li>・ 困っている人に声をかける</li> <li>・ 点字ブロックの設置</li> </ul>
<b>高齢者が暮らしやすく</b> 【3人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1カ月に1日、「高齢者の日」を作る</li> <li>・ 治安をよく、交通利便をよく、商業施設を整える、医療機関や福祉施設の充実</li> <li>・ 道路に飛び出している草木について切れない家を手伝う</li> </ul>
<b>廃校活用</b> 【2人】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃校活用について子どもにアンケートを取る</li> <li>・ 廃校を使った楽しい遊び場づくり</li> </ul>
<b>その他</b> 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児と仕事の両立支援(子どもを安心して預けられる場所を作る、子育て環境の現状を伝えるポスターを掲示する)</li> <li>・ 自習室をつくる</li> </ul>

## 2022年11月5日・6日 玉川学園コミュニティセンター祭りでのアンケート結果

9月11日に開催した地区別懇談会でいただいた全ての意見を玉川学園コミュニティセンター祭りで展示しました。また、ご覧になられた方から、特に賛同、共感する意見を得るためのアンケートを実施し、17名の方から回答を得ました。その結果は以下のとおりです。

### 【特に賛同・共感する意見】※かっこ内は人数

分類	ラウンド1 (ワクワク)	ラウンド2・3 (ワクワク実現のための提案)
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気にあいさつ⇄こどもの見守り（1人）</li> <li>・子どもたちが安心して遊べる場がたくさんあるといい。（1人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがいるとみんな元気になる（1人）</li> <li>・登下校の横断歩道の見守りを地域の人が行う（1人）</li> <li>・子どもに声をかけたが、あやまれるので帽子をかぶるようにする。子どもが安心する効果があるので、皆でかぶる（1人）</li> <li>・夏休みの宿題の協力（1人）</li> <li>・子ども見守りの帽子だけでなく素敵なブローチつけて活動したい。つけてくれる人増やしたい。つけたら一体感生まれる（1人）</li> <li>・子ども祭り（子どもから募った）マスコットキャラのバッチを作る（1人）</li> <li>・歩くとき、まちのみんながブローチつけているといい（1人）</li> <li>・地域通貨を使う。駄菓子屋さん。子どものワークショップで使ったものを売るとか。（1人）</li> <li>・「まちだ版こども通貨」をつくる。子どもが活躍できること。（1人）</li> </ul>
お祭り・イベント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月見坂の使い方「何秒で登ってみた」チャレンジ（1人）</li> <li>・月見坂の使い方（ダッシュ競争）商店協会で賞金年代別。有名選手招いてチャレンジを子ども達に見てもらおう（1人）</li> <li>・大きなイベントだけでなく、小さなイベントを増やす。小学校で開催。毎年毎年やること。（1人）</li> <li>・イベント（子ども食堂系）にボランティア参加（1人）</li> <li>・お祭り、大事（1人）</li> </ul>
あいさつ・声掛け		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつは自分から声をだす（あいさつから始まるのが大事）⇒和が広がる（1人）</li> <li>・挨拶キャンペーン（期間を決める）（1人）</li> </ul>
交流・つながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の本棚が広がり、読書活動が活発に駅前広場がにぎやかにした（1人）</li> </ul>	

歴史・文化		・坂と階段に名前があるとよい・・・ウォキングの魅力になる（1人）
拠点・居場所		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ココがスゴイ！といった場所をつくる（1人）</li> <li>・これからも発展させよう←空き家プロジェクト、えんがわカフェ、近所の本棚（1人）</li> <li>・まちづくりの会などと「ご近所さん会」をやっている。井戸端会議ができる場で話す。あちこちでやっている。（1人）</li> <li>・学校の教室活用 地域が参加して（1人）</li> <li>・学校を場として提供（1人）</li> <li>・図書室は引きこもっていた方を含め、居やすい場なので開放を。（1人）</li> <li>・大人（気軽に行ける、近所、おうちカフェ）の集まれる場所（1人）</li> </ul>
自然		・公園などに虫や生き物の居場所づくりをする（2人）
活動の担い手		<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川学園大、昭和薬科大の学生とのつながり⇒授業の一貫（1人）</li> <li>・リーダーはいらない。みんなが自由に話し合うこと⇒自由な雰囲気（1人）</li> </ul>
情報発信・共有		・子ども食堂を活用している。その周知が課題。SNS、回覧板、町の掲示板。（1人）

### 【その他自由意見】

- ・子ども向けのお祭りはあるが、大人向けのイベントが少ない。ヨーロッパのようにお酒、茶を飲みながら同じ年代や、違う年代の人々と色々なことを話し合いたい。（まちなかジャズ、クラシック。いい音楽に、いい男女）
- ・素敵なカフェがあるとよい。チェーン店ではない、気楽に入れるところがあると良い。
- ・60年～70年前の写真展示。玉川学園2丁目から4丁目の風景が懐かしく見ることができました。
- ・近隣の方とつながりができる町で子どもが安心できる町になると良い。
- ・区内での「あいさつ」は重要と思います。声を掛け合うことで情報共有ができ、住んでいて良かった街が目指せるでしょう。
- ・キラキラシャボン玉
- ・夏休みの宿題のヒントを得ています。
- ・小さな夢を育てる心を重視しています。
- ・障がい者に対する意見が少ないのが気になりました。



玉川学園コミュニティセンター地下1階ホワイエでの展示の様子